

第 1 回検討会の議事概要（案）

1. 日時及び場所

平成 22 年 11 月 2 日（火） 10:00～12:00

日本通運㈱ A 会議室

2. 出席者

○委員長及び委員

鎌田委員長、永井委員、四倉委員、吉田委員、清水委員、杉田委員、加藤委員、栗原委員、山田谷委員、竹林委員、板崎委員、鷹取氏（委員代理）、木部氏（委員代理）、倉持氏（委員代理）

3. 議事概要

（1）調査検討の目的について

- 資料 1 及び資料 2 に基づいて検討を進めることについて、概ね了承された。
- この際、今後留意すべき事項として確認された事項は以下のとおり。
 - ・ドライブレコーダの標準仕様は、メーカーの競争力を阻害しない最低限のスペックとするのか、事故分析のために必要とするスペックとするのか等、WG も含めて検討していく。
 - ・昨年度の標準仕様は素案である。今年度はその位置付けについても考えながら指針となるものを目指していく。

（2）ドライブレコーダの統一フォーマットと標準仕様について

- 資料 3 に記載のとおりインタビューを行い、次回検討を行うためのたたき台を事務局がまとめることについて了承された。
- この際、今後留意すべき事項として確認された事項は以下のとおり。
 - ・事故分析を目的とすると標準仕様は高機能・高価格なものになるおそれがある。データ収集の観点からはドライブレコーダを普及させることも重要であり、価格や取り付け費用についても考慮が必要。
 - ・DB を利用する者にとって、現状のデータで何が分析でき、何のデータが足りないのかについて整理する。

（3）データベース提供者が事後的に提供できる項目について

- 資料 4 については素案であり、以下の留意事項を踏まえつつ、次回検討会に向けて事務局で再整理することとなった。
 - ・事故報告規則の内容を調査の上、DB とのリンクの可能性について検討する。
 - ・個人情報として問題となるデータについて、調査の上、整理が必要。
 - ・主観的評価データの活用可能性については、今後検討が必要。

(4) データベースのイメージについて

●資料5については素案であり、次回検討会に向けて事務局で再整理することとなった。

●また、DB 構築にあたっては主に以下の課題があることが確認された。

- ・ 運送事業者からどの様にデータをもらうのか
- ・ データ変換を何処で実施するのか
- ・ DB 項目として欠落したデータをどの様に扱うのか 等

(5) その他

次回検討会は、1 月に開催する予定。

以上